

光が丘第五小学校・光が丘第六小学校 統合準備会(第17回) 要点記録

開催日時	平成22年1月26日(火)午後7時~午後7時55分	
会場	光が丘第六小学校 視聴覚室	
出席者	委員	鈴木久、嶋英治、表迫信行、長田幸子、佐藤育子、田中綾子、田辺しゅう子、横山かおる、瀧本日出雄、渡部博子、白鳥由美、野村直子、大内美佐江、川上正夫、森みちる、今給黎摂子、関根聰吉、栗野麻美(敬称略)
	その他	教育長、学校教育部長
	事務局	新しい学校づくり担当課
傍聴者	1人	
案件	<ol style="list-style-type: none"> 1 統合準備会(第16回)の要点記録の確認 2 統合新校の校歌について(報告) 3 閉校式、開校式および開校記念式典について(報告) 4 学校跡施設(光が丘地域)活用基本計画について(報告) 5 その他 	

1 統合準備会(第16回)の要点記録の確認

事務局

事務局が作成した「統合準備会(第16回)の要点記録(案)」の内容を、委員の方々に確認してもらいたい。訂正すべき点があった場合は、2月2日(火)までに事務局へ連絡してほしい。その後、発言者を無記名にして、新しい学校づくり担当課のホームページで公開する。

2 統合新校の校歌について(報告)

[資料1に沿って、事務局から説明]

事務局

他の統合新校の校歌制作依頼者が決定したので報告する。

(1)光が丘四季の香小学校

作詞 かわせ たまみ 氏、作曲 竹内 邦光 氏

(2)光が丘春の風小学校

作詞 飯田 浩文 氏、作曲 中川 英二郎 氏

(3)光が丘秋の陽小学校

作詞 谷川 俊太郎 氏、作曲 林 光 氏

光が丘夏の雲小学校の校歌制作の進ちょく状況を報告する。現在、作詞家の石原先生の作詞案を作曲家の千住先生がご覧になっているところであり、完成時期は3月中旬頃になるのではないかと聞いている。校歌が完成したら、何らかの形でお知らせしたい。

委員

完成した校歌を確認したい。

会長

両校長の責任で校歌制作を進めているが、委員のご要望は全て含まれていることを確認している。

事務局

委員の方々に校歌の歌詞を確認できる何らかの手段を考えている。

委員

校歌を試聴することはできるか。

事務局

予算の都合で音声を録音することができないので、難しい。

会長

校歌の完成予定時期は3月中旬であり、児童に指導する時間的な余裕はない。4月以降、指導していくことになると思う。

委員

開校式で公表できるか。

会長

紹介程度なら可能だ。

3 閉校式、開校式および開校記念式典について（報告）

〔資料2に沿って、事務局から説明〕

事務局

光五小および光六小の閉校式、新校の開校式および開校記念式典の実施日および主な内容を報告する。

(1)閉校式

- 実施日 平成 22 年 3 月 24 日（水）
主な内容 校長式辞、区あいさつ、校旗返還
- (2)開校式
実施日 平成 22 年 4 月 6 日（火）
主な内容 校旗授与、校長式辞、区あいさつ
- (3)開校記念式典
実施日 平成 22 年 10 月 9 日（土）
主な内容 周年行事に準じた内容

- 質疑なし -

統合準備会では、光が丘夏の雲小学校の開校記念式典の実施日を 10 月 9 日(土)とお伝えしましたが、その後、10 月 2 日(土)に変更になりました。

4 学校跡施設（光が丘地域）活用基本計画について（報告）

事務局

平成 21 年 9 月に「学校跡施設（光が丘地域）活用基本計画（素案）」を公表後、区民の皆様から多数の意見をいただいた。いただいた意見などを踏まえ、案としてまとめ、先日、計画を策定した。基本的な考え方に変更ないが、計画（素案）からの変更点を報告する。光三小跡施設について、整備する施設として、「アニメ産業など地場産業の強化に繋がる施設、専門学校などの教育関係施設、高齢者や子どものための施設などとして活用する民間事業者を優先的に誘致します。」の一文を追加した。なお、光五小跡施設についての大きな変更部分はない。実施スケジュールについて、光三小の貸与者の公募選定を 21 年度中から 22 年度当初まで、開設も 23 年度後半から 24 年度当初に日程を延期した。

- 質疑なし -

5 その他

副校長

前回、児童や教職員の交流状況について述べたが、その後の活動内容について報告する。1 月に、両校の 2 年生が光六小の体育館で、昔あそびを通して交流を行った。今後も、状況を見ながら可能な範囲で学年単位の交流をしていく。また、教員間で新校の教育課程の編成に向けて分科会形式で素案の作成を進めており、2 月中に内容を固める予定である。3 月上旬に教育委員会へ教育課程の届出をする予定である。

- 質疑なし -

会長

他に何かあるか。

事務局

2点、報告がある。まず、信号機の設置の要望についてである。2月中旬に信号機が設置され、3月中旬に供用を開始するとのことだ。次に、校門前のスロープの改修工事についてである。改修工事を行なうことが決定され、来年の夏休みを中心に工事を進める予定だ。

- 質疑なし -

会長

それでは、本日が最後の統合準備会となる。各委員から一言ずつ感想などをお願いしたい。

委員

2年間は短かったように思えるが、委員の方々には、児童のために忙しい時間を割いていただき感謝している。

委員

要望だが、新校でのクラス編成は、光五小と光六小の児童数の違いを十分に考慮してほしい。

学校教育部長

新校でのクラス編成は、校長の権限で行うものだが、児童の教育環境が安定したものになるように最大限配慮する。また、教育委員会としてもお願いしたいと考えている。

委員

最初は、統合に大変不安を感じていたが、統合準備会に出席するごとに、その不安が次第に解消されてきた。

委員

新校開校の準備に携わることができたのは貴重な体験だった。「五小大好き」と言っている児童や「六小大好き」と言っている児童が早く「夏雲小大好き」と言ってくれたらよいと思っている。私自身も、どんな学校になるのか楽しみにしている。

委員

質問だが、新校では、上履きの指定はあるのか。

会長

形はバレーシューズで、色の指定はない。

委員

2年間、感謝している。初めての経験で、大変勉強になった。児童は新校を楽しみにしているので、良い学校になることを願っている。

委員

統合準備会では、活発な意見が出されるなかで、校歌や校章を決めてきた。現在、新校のPTAの設立に向けて準備しているところである。今後も、皆様にはお世話になるかと思うが、そのときは宜しく願いたい。

委員

児童が新しい門出を迎えることができるように微力ながらお手伝いできたことを誇りに思っている。児童が楽しく元気に新校に通学してくれることを願っている。

委員

統合の話聞いたときは大変不安だったが、この2年間はとても短かった。統合準備会に参加したことは貴重な体験だった。子供達が新校に楽しく通学してくれることを願っている。

委員

統合準備会で検討すべき項目の多さや、校章や校歌の選定に関わることの責任の大きさを感じた。大変勉強になり、貴重な体験だった。

委員

当初は、統合までの準備期間が2年間で間に合うのか不安だったが、皆様のおかげでこれまで順調に進んできたと思っている。児童は不安を感じていると思うので、これからは心のケアをしていかなければならないと感じている。

委員

私としては、光五小と光六小の統合は、全く心配は要らないと思っている。今後も、行事を通して児童と交流できる機会を設けてくれると嬉しい。

委員

統合で両校の児童が集い、活気のある学校になるよう願っている。今回、娘の応募した校章原案が採用されたが、今年卒業してしまうので残念そう。しかし、今後も残るものなので、保護者としても大変良い思い出になった。

委員

統合までの2年間は、大変短かった。統合準備会に出席することは滅多に経験できるものではない貴重な場だった。私たちは、非常に幸運だったと思う。はじめは、それぞれの学校の思いがあったが、2年間でその思いが少しずつ1つに重なってきて今日を迎えた。光が丘夏の雲小学校の校名を見るたび、わが子のような思いを感じると思う。

委員

大人が思うより子供の力は強いので、是非、子供を信頼してほしい。ただ、少なからず不安を抱いていると思うので、他校よりもスクールカウンセラーの配置を充実させるなど、心のケアを十分に行っていただきたい。

委員

校門前の信号機の設置やスロープの工事について前向きに検討していただいて感謝している。保護者の方々には、頑張ってもらいたいと思う。親も統合に不安を感じることがあるかもしれないが、子供の前ではその気持ちを抑えてわが子を元気に新校へ送り出してほしい。今後も、地域の一員として新校のお手伝いをしたい。

委員

今年4月の着任だったが、この1年間で光五小、光六小それぞれの保護者の学校への思いや新校への期待を感じた。新校開校までの残り2か月間は、児童・教職員ともに新校でいいスタートが切れるような心構えで準備したい。

委員

初めはとても不安な気持ちでスタートしたことを覚えているが、回数を重ねるごとに児童、保護者、地域の方々の新校への思いが強くなっていくことが伝わった。子供の力は本当にすばらしく、与えられた環境で立派にやっけていく。統合準備会では新校の土台を築いてきたが、今度は教職員が、4月から開校する新校に児童が楽しく通学できるように準備をしたい。

副会長

光が丘の子供達は、世界に羽ばたいてこの国をリードしていく力があると思っている。たとえば、統合後に問題が生じたときでもお互いに協力しあい、議論し合ったりできるような子供に育ててほしいと思う。子供達は、自分で伸びていく力をつけていくと思うが、地域、保護者の方々には子供達を見守っていただくことが重要だと思うので、今後ご協力をお願いしたい。

会長

2年間、会長を務めさせていただいたが、委員の方々は、子供にとって何が一番良いのかを真剣に考えていただき、回数を重ねるごとに委員の方々の気持ちが1つにまとまっていったのだと思う。残り2ヶ月足らずで新校が開校し、歩み始める。今後も様々なことが起こると思うが、そのときには新しい学校の成長を促すために再度、お力添えをいただければありがたい。

会長

統合準備会の終了にあたり、教育長からご挨拶をお願いしたい。

教育長

区立学校の統合は練馬区にとっても、そして区民の方々にとっても初めての経験である。教育委員会は、適正配置第一次実施計画の発表後にいただいた様々な意見に真摯に対応してきた

つもりだが、行き届かない面もあったかと思う。4つの統合準備会の委員の方々それぞれ、真摯に心のこもった議論をしていただき、本日を迎えたことを心から感謝を申し上げたい。今後は、委員の方々や、新しい学校に通学する児童、全ての保護者や地域の方々それぞれの気持ちをしっかり受けとめていかなければならない。新校開校に向けたこれまでの労苦に対して心からお礼を申し上げて、ご挨拶とする。

☐会長

ありがとうございました。それでは、以上をもって、光が丘第五小学校・光が丘第六小学校統合準備会を終了する。